

熊本北部流域下水道指定管理者 平成29年度 管理運営評価票

所管部課：土木部下水環境課

施設の管理概要

指定管理者名	九州テクニカル・熊環・熊エンジニアリング 委託業務共同企業体		
指定期間	平成29年4月1日から平成34年3月31日まで		
施設概要	設置目的	生活環境の改善と公共用水域の水質の保全を図る	
	施設区分	下水道法第25条の2の規定に基づき熊本市、合志市及び菊陽町を区域とする下水処理施設（処理場1箇所、ポンプ場2箇所、幹線管渠23.3km、全体計画処理面積4,670.9ha）	
指定管理料	892,835,000円		

管理運営の評価

1 管理業務の水準の評価

管理業務の水準を表す指標	目標値	実績値	備考
別紙のとおり			
【点検・調査結果及び評価】 流入水量 1 m ³ 当たり発生汚泥、消費エネルギー及び温室効果ガスは増加傾向にあるが、本業務の最重要指標である放流水質における BOD・COD 等の管理目標値は概ね達成。業務全体としては適正な維持管理を行っているものと認める。			

2 管理業務実施状況

施設維持管理業務実績

作業項目	実施日		内容	
施設清掃・緑地管理	日常清掃	243日	1～3人	再委託分を含む
施設の保守・点検	日常点検	365日	2～4人	再委託分を含む
保安・警備		365日	1～3人	
施設の運転操作監視		365日	2～4人	
水量・汚泥計量、成分分析等		243日	1～3人	再委託分を含む
汚泥沈砂等処理		281日	1～3人	再委託にて実施
排ガス悪臭騒音等計測			2人	再委託にて実施
運転データ等記録保管		365日		
【点検・調査結果及び評価】 各作業項目は、適正な日数と人員により実施されており、良好であると認める。				

3 管理経費の収支状況

収 入		
項目	内 訳	金額(円)
指定管理料	流域下水道の運転操作、維持管理、簡易な修繕等	892,835,000
受取利息	預金利息	637
合 計		892,835,637
	収入未済額	0
	うち利用料金収入分	0

支 出		
項 目	内 訳	金額(円)
運転管理費	消耗品材料費・車両費・賠償責任保険費 委託業務共同企業体構成企業における留保分（構成企業からの従業員派遣費に相当）を含む	312,917,854
光熱水費		104,513,144
分解整備工事		82,308,960
修繕費		31,453,509
業務委託費	沈砂・し渣・脱水ケーキ運搬処分、電気計装設備点検等	289,266,358
薬品費	高分子凝集剤等	69,858,546
普及啓発費		2,516,629
合計		892,835,000

【点検・調査結果及び評価】

管理経費は、県の委託料の範囲内で執行されており、良好であると認める。

5 意見・苦情等の対応

意見・苦情等	改善状況
近隣住民から、浄化センター北側フェンスから葛の蔦が農道に伸びているため、車両通行に支障があるとの苦情。	指摘後すぐに北側フェンス沿いの50mの除草を行うことで対応し、あわせて週1回の安全パトロール時に草の伸び方にも注意するよう従業員への周知徹底や除草剤の散布を行った。
【調査結果及び評価】 迅速な対応であり、良好であると認める。	

6 昨年度の評価で、改善を指摘した事項に対する対応

指 摘 事 項	改善内容・結果
該当なし	
【調査結果及び評価】 -	

7 その他

住民や児童学生等の施設見学等を幅広く受け入れ、浄化センターのしくみ等にとどまらず、下水道の役割や下水道整備の重要性の説明を新たなパネルの作成や見学路整備により対応したり、生活排水に係るイベントへの協力のための要員派遣を行うなど、本県が取り組む生活排水対策に係る普及啓発活動への貢献も評価できる。

管理運営の評価 - 1 管理業務の水準の評価 (熊本北部流域下水道)

管理業務の水準を表す指標						
放流水質			管理目標基準	平成29年度(平均値)	備考	
BOD(mg/l)			6以下	3.4		
COD(mg/l)			10以下	6.6		
SS(mg/l)			5以下	1.6		
大腸菌群数(個/cm ³)			10以下	0		
透視度(cm)			90以上	>100		
窒素含有量(mg/l)			20以下	13		
燐含有量(mg/l)			2以下	1.6		
発生污泥削減量(率)			平成28年度	平成29年度	29年度 - 28年度	
ケーキ量(t/年)			10,707.2	11,145.5	438.3	
流入水量(m ³ /年)			22,941,946	23,365,547	423,601	
1m ³ の量(g/m ³)			466.7	477.0	10.3	
エネルギー削減量(率)			平成28年度	平成29年度	対前年度比	
浄化センター - 電気使用量(kWh/年)			4,139,960	4,254,138	0.28%	
清水ポンプ場電気使用量(kWh/年)			1,090,300	1,082,200		
弓削ポンプ場電気使用量(kWh/年)			391,260	404,730		
消化ガス発電量(kWh/年)			2,402,240	2,478,130		
小水力発電量(kWh/年)			133,580	133,360		
合計(kWh/年)			8,157,340	8,352,558		
流入水量(m ³ /年)			22,941,946	23,365,547		
原単位(kW/m ³)			0.356	0.357		
CO ₂ 排出量			平成28年度	平成29年度	対前年度比	
流入下水量			m ³ /年	22,941,946	23,365,547	0.26%
電気 係数:0.555	浄化センター	kW	4,139,960	4,254,138		
		CO ₂ kg	2,297,678	2,361,047		
	清水ポンプ場	kW	1,090,300	1,082,200		
		CO ₂ kg	605,117	600,621		
	弓削ポンプ場	kW	391,260	404,730		
		CO ₂ kg	217,149	224,625		
	合計		CO ₂ kg	3,119,944	3,186,293	
	水道 係数:2.000	浄化センター	m ³ /年	12,181	13,243	
CO ₂ kg			24,362	26,486		
清水ポンプ場		m ³ /年	11	12		
		CO ₂ kg	22	24		
弓削ポンプ場		m ³ /年	2,792	2,140		
		CO ₂ kg	5,584	4,280		
合計		CO ₂ kg	29,968	30,790		
LPG 係数:3.000		浄化センター	kg/年	74.4	38.9	
	CO ₂ kg		223	117		
A重油 係数:2.710	浄化センター	L/年	1,139	659		
		CO ₂ kg	3,087	1,786		
	清水ポンプ場	L/年	163	128		
		CO ₂ kg	442	347		
	弓削ポンプ場	L/年	61	64		
		CO ₂ kg	165	173		
	合計		CO ₂ kg	3,694	2,306	
	高分子凝集剤 係数:6,500	浄化センター	t/年	50.4	51.6	
CO ₂ kg			327,600	335,400		
次亜塩素酸ナトリウム 係数:320	浄化センター	t/年	410.4	420.2		
		CO ₂ kg	131,328	134,464		
ガソリン 係数:2.32	浄化センター	L/年	1581.40	1545.16		
		CO ₂ kg	3,669	3,585		
CO ₂ 合計		kg/年	3,616,426	3,692,955		
流入下水比		kg/m ³	0.1576	0.1581		
見学者数の増減(率)			平成28年度	平成29年度	増加率	
			654	493	-24.6%	
クレーム数の増減			平成28年度	平成29年度	増加率	
			0	1	(皆増)	